

令和6年度の主な取組事例

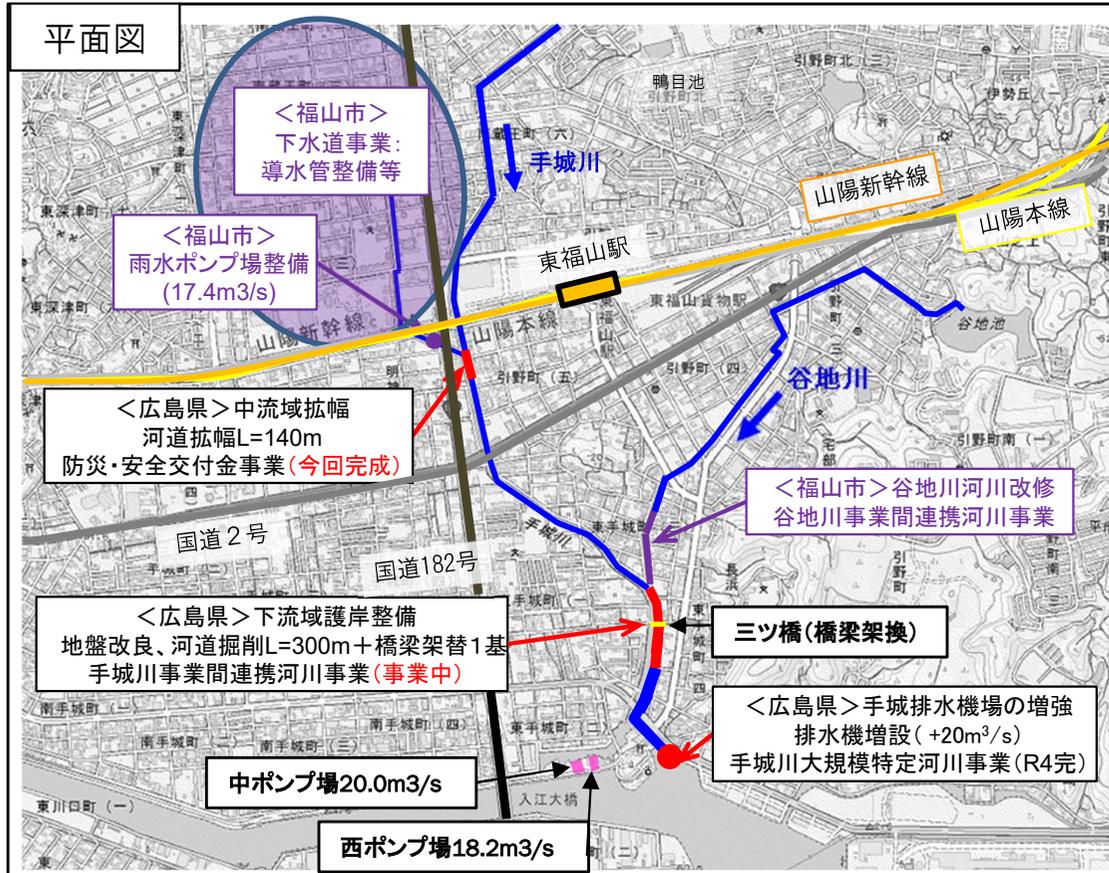
広島県東部建設事務所管内

1. 広島県の取組状況

(1) 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

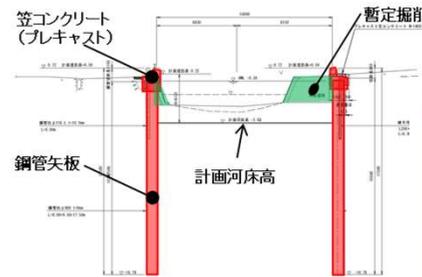
②洪水氾濫を未然に防ぐ対策

平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害が発生した手城川水系において、大規模特定河川事業及び防災・安全交付金事業が完了しました。



■ 中流域拡幅 (河道拡幅L=140m)

市ポンプ場からの排水17.4m³/sによる水位増加を防ぐため拡幅を実施する



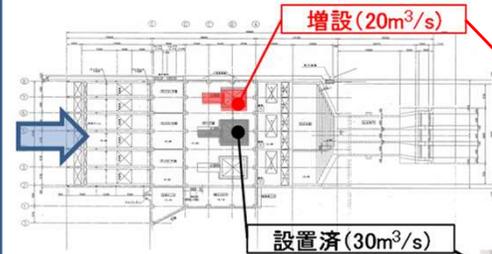
今回完成



完成写真 (令和7年2月時点)

■ 手城川排水機場の増強 (既設30m³/s + 増設20m³/s、計50m³/s)

令和5年4月1日に増設ポンプ (+20m³/s) を供用開始した。



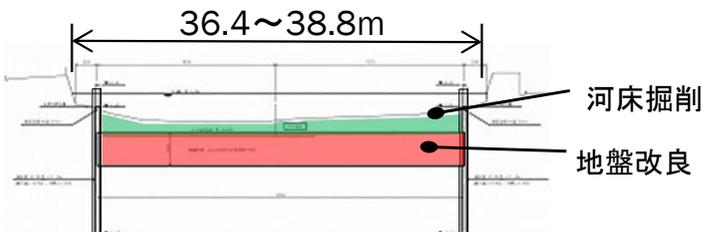
R4完



完成写真 (令和5年2月時点)

■ 下流域護岸整備 (地盤改良、河床掘削: L=300m、橋梁架換: 1基)

河道貯留効果を高め、排水機場の排水能力を効果的に活用する。

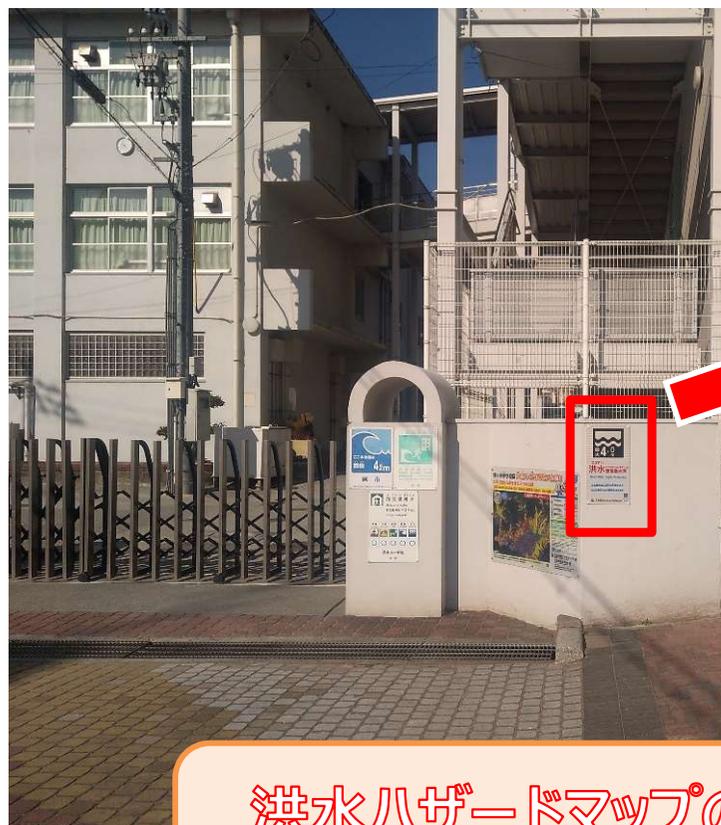


施工状況写真 (令和7年2月時点)

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、**全ての市町を対象に、「まるごとまちごとハザードマップ」**に取り組んでおり、**令和6年度は3市町の役場や小・中学校、公民館などの公共施設へ標識を設置**しました。引き続き、市町と連携しながら、標識の設置を進めます。

(設置例) 呉中央中学校



(令和6年度の設置状況)

市 町	設置数
呉市	19
江田島市	1
大崎上島町	1
合 計	21

洪水ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に
臨場感をもって認識し、避難の実効性を高める。

④ 避難確保計画の作成・確認

要配慮者利用施設における「**避難確保計画**」の作成の義務化を踏まえ、各施設における速やかな避難確保計画の作成のための支援を行いました。

○県内要配慮者利用施設（洪水）**3,248施設**のうち、計画作成済施設は**3,058施設**（約**94.2%**）
※R7.3末現在

作成に向けた資料

要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・活用の手引き
(洪水、雨水出水、高潮、土砂災害、津波)

令和4年3月

国土交通省 水管理・国土保全局

○YouTubeでナレーション付き動画も公開

要配慮者利用施設における 避難確保計画の作成・確認のポイント

令和5年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課・砂防計画課

【国土交通省 YouTube】



↑eラーニングテキストでは、水害リスク、作成手順など避難確保計画を的確に作成できるよう解説を充実。

【関連ホームページ】（国土交通省）

- ・避難確保計画の作成・活用の手引き
- ・記載様式
- ・チェックリスト 等

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>



- ・避難確保に関するeラーニング教材【動画】



<https://youtu.be/VtMlyW9Yow4>

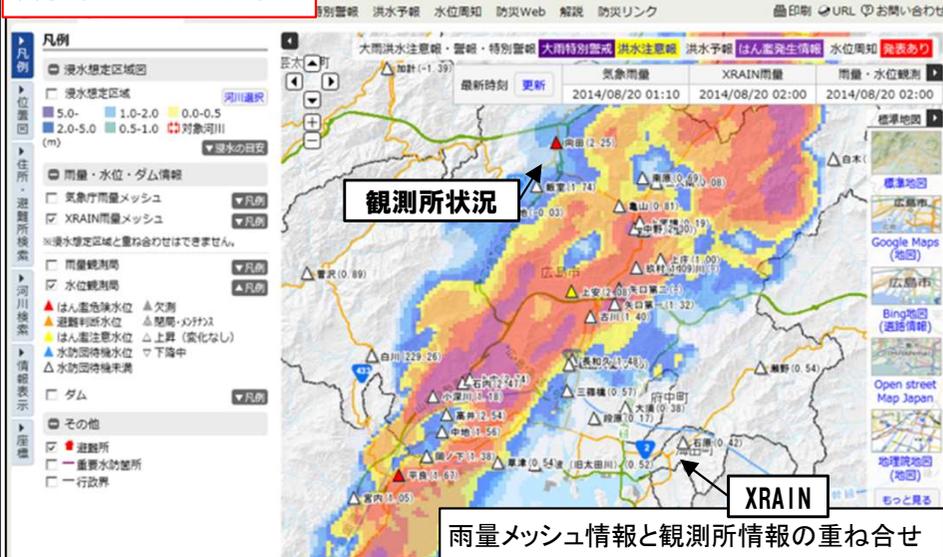
- ・避難確保計画の作成・活用のポイント【動画】



<https://youtu.be/Va400F33ucs>

水害ハザードマップの周知

洪水ポータルひろしま



- 地理情報システム（Web-GIS）に各種情報を表示しています。水系・河川ごとに「浸水想定区域図」や「浸水継続時間」、「家屋倒壊等」の図面を公表しています。

防災情報の周知

- SNSを通じて防災情報を発信し、県民に向けた防災意識の更なる波及効果を図ります。



【広島市南区、江田島市に土砂災害警戒情報発表】

崖の近くや谷の出口など、土砂災害の発生しやすい地区（土砂災害警戒区域等）にお住いの方は、市町から発令される避難情報に留意し、安全な場所への速やかな避難を心掛けてください。

**広島市南区、江田島市
土砂災害警戒情報**

2023年07月09日 0:16 - 2.2万表示

避難行動等の周知

- 災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ、災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに、未来の防災リーダーの育成を目標として、出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数）

年度	小学校	中学校等	合計
R3	12校	2校	14校
R4	110校※	-	110校
R5	127校※	-	127校
R6	155校※	3校※	158校

※ R4年度から「ひろしま防災出前講座」として実施。



⑦ 避難行動に資する基盤の整備

平成30年7月などの豪雨により浸水被害が発生した河川や、人口・資産の集中する河川(水位周知河川等)を中心に、令和6年度には57箇所を増設し、現在は180箇所で運用しています。(CCTVカメラ21ヶ所を含む)

令和7年度以降も更なる防災情報の拡充に向け、増設する予定です。

簡易型河川監視カメラの設置

- 国土交通省ホームページ「川の防災情報」にて公開しています。
※CCTVカメラにおいては、「広島県河川防災情報システム」にて公開しています。
- 引き続き、住民が河川防災情報を入手しやすい環境の整備に努めます。

御調川(尾道市御調町丸門田)

【設置例】

【画像公開例】

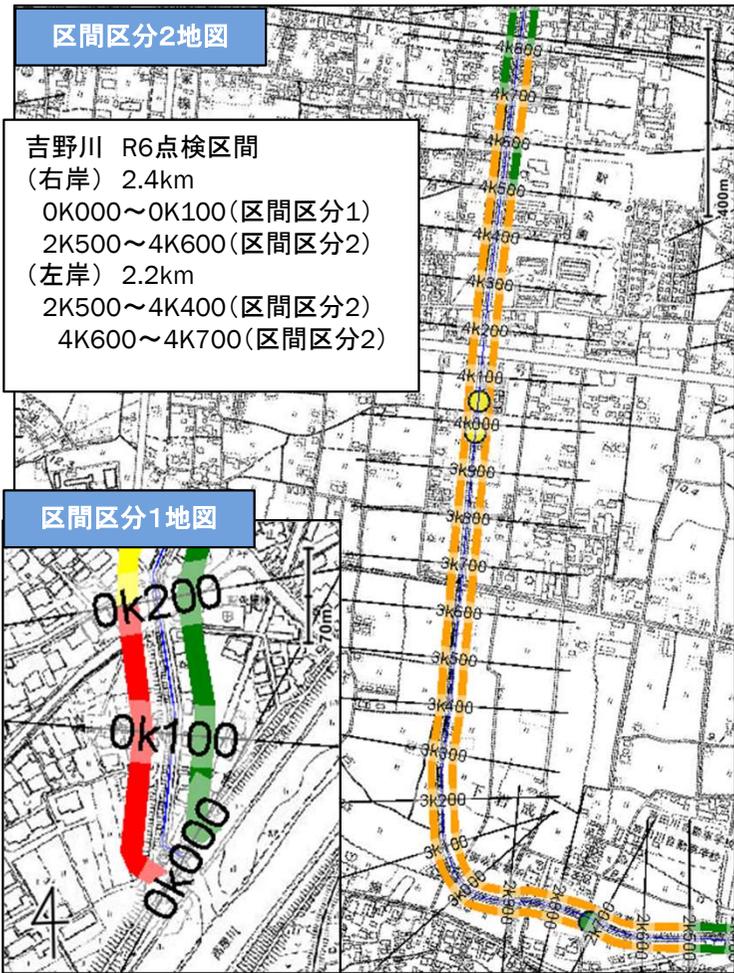


(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

② 河川管理者等による堤防の点検・監視の実施

堤防について、河川管理者が「堤防区分の評価」と「河川背後地の社会的評価」による重要度を踏まえた区間区分を設定し、点検を実施

吉野川(0K100付近) 点検状況



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

毎年出水期前に広島県主催の水防工法講習会を行っています。

【令和6年度水防工法講習会】

- 実施時期 : 令和6年5月
- 場所 : 沼田川河川防災ステーション
- 参加者 : 国、県、市町の職員

～訓練の様子～

・実技演習(積土のう工法)



・排水ポンプ車実演

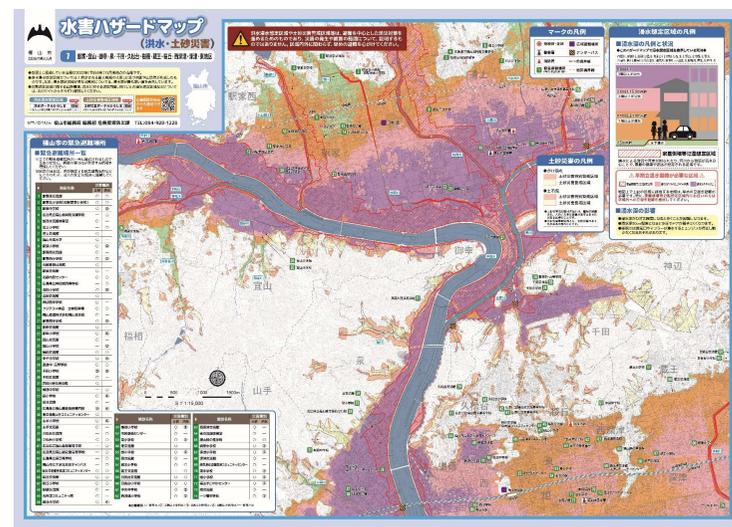


2. 各構成機関の取組状況

福山市

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

洪水や土砂災害による災害リスクを把握し、災害時に適切な避難行動ができるよう、土砂災害ハザードマップと洪水ハザードマップを更新、統合した水害ハザードマップを2023年に作成し、印刷物を全戸配布し、市ホームページへ説明動画の掲載等により周知を行っている。



⑧防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R4	6校	4校	
R5	35校	4校	1校
R6	21校	2校	2校



① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

市内にある大学を中心に団員募集を実施。
福山大学においては、よしもと芸人と連携した広報活動等を実施



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
土砂災害対応訓練	福山地区 消防組合 消防局	・福山地区消防組合消防局 ・福山市消防団	90人	水防工法	2月
規律訓練・ 機関員訓練	福山市消防団	・福山地区消防組合消防局 ・福山市消防団	885人	・規律訓練 ・機関員訓練 ・救助資機材取扱訓練 ・新入団員訓練:	出水期前



府 中 市

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町の避難計画を見直し住民等へ周知



「危険箇所」を知って備える

ハザードマップ

ハザードマップは、崖崩れや洪水の恐れがある場所や避難する場所を地図上にまとめて示したものです。避難経路や職場・学校からの帰宅経路の確認に役立ちます。

ハザードマップで確認すること

1 チェック 自宅とその周辺、通勤・通学経路などの危険箇所を確認し、災害リスクを把握しましょう。

2 チェック 近くの避難場所を確認し、避難場所までの安全な経路を決めておきましょう。

ハザードマップの入手方法

ハザードマップは、危機管理課で配布しているほか、市のホームページからも見るすることができます。



土砂災害
ハザードマップ



洪水ハザードマップ



土砂災害ハザードマップの一部



ひろしま3DマップDoboX

県が運用するDoboX（ドボックス）では、災害リスク情報やインフラ情報などを3DマップやGIS上で確認できます。

GIS…位置に関するさまざまな情報を持ったデータを電子的な地図上で扱う情報システム技術の総称。



DoboX
ポータルサイト

「広報ふちゅう」で周知
広報6月1日号にハザード
マップの記事掲載

⑧防災教育や防災知識の普及

小学生や地域での河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R6	南小学校		
R6			府中老人大学
R6			河南町 ほか2地区



ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

説明会等	参加人数	その他
作成講習会	40	父石町
作成講習会	34	河面町
作成講習会	27	府川町
作成講習会	46	広谷町



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

府中市

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

備後国府まつりパレードで、消防団員の募集を呼びかけた。



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
府川町 避難訓練	府川町自 主防災会	府川町自主防災会 消防団 市	200人	緊急避難場所への 避難訓練を実施	10月20日



福山河川国道事務所

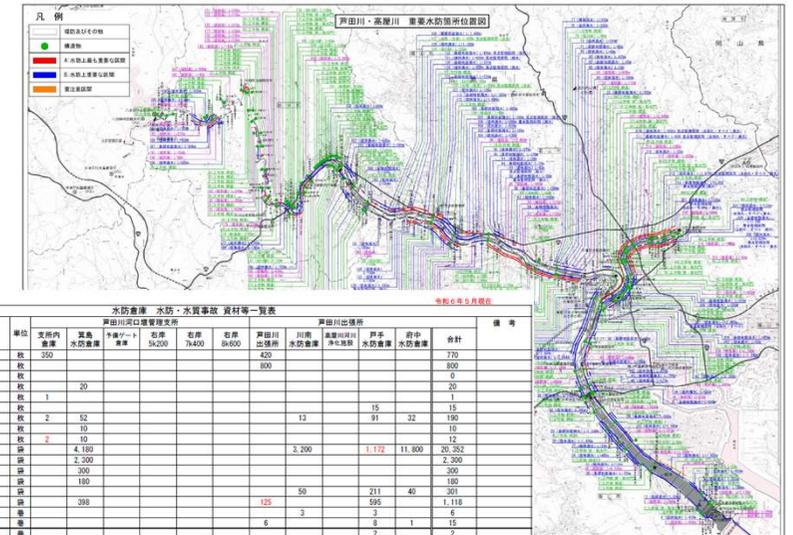
(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

② 水防資機材の情報共有及び相互支援

令和6年6月に「芦田川洪水予報連絡会」「芦田川水防連絡協議会」を実施し、重要水防箇所や水防資材の保管場所、数量等の情報を共有。併せて、災害対策機械についても情報提供。



芦田川洪水予報連絡会、
水防連絡協議会の様子
(令和6年6月18日)



部材名称	規格	単位	芦田川河口堤管理支所				芦田川出流所				計	備	
			支所内倉庫	支所内水防倉庫	右岸倉庫	右岸水防倉庫	川南倉庫	川南水防倉庫	計	計			
兼用ポリ袋	900×900×0.04	枚	350				420					770	
シート	600×900×0.05	枚					800					800	
	1.5×1.5	枚		20								20	
	2.0×3.0	枚	1									1	
	2.4×2.4	枚						13				13	
	2.4×5.4	枚	2	52								91	32
5.4×7.2	枚		10								10		
10.0×10.0	枚		10								10		
10.0×15.0	枚	2	4,180					3,200		1,192	11,800	20,382	
土 織 袋	法製 400×60センチ	袋		2,300								2,300	
	法製	袋		300								300	
	法製	袋		180								180	
	1.1	袋						50		211	40	301	
トラロープ	1.1 耐摩性	袋					125		595			1,113	
	φ8mm 100m	巻		388				3				6	
	φ8mm 200m	巻						6			1	15	
	φ8mm 30m	巻										1	
	φ8mm 40m	巻									2	2	
ぶつ子縄	φ10mm 200m	巻						3				3	
	φ10mm 200m	巻	4									4	
バックロープ	φ4mm 200m	巻						1	2			3	
	φ10mm 100m	巻	5					7	5			17	
網ロープ	φ20mm 100m	巻										0	
	φ20mm 50m	巻										0	
	φ20mm 20m	巻										0	
	φ20mm 10m	巻										0	
ビニロープ	φ12mm 5m	巻		40								40	
	φ12mm 50m	巻	1									1	
	φ12mm 100m	巻	1									1	
	φ12mm 200m	巻	1									1	
タスロープ	φ6mm 100m	巻										0	
	φ6mm 50m	巻										0	
ワイロンロープ	φ12mm 100m 1人1人	巻										0	
	1.5m×20m 5人1人	巻						11				11	
	1.5m×20m 5人1人	巻										0	
	φ6mm 15g	本										0	
綱 鉄	φ12mm 15g	本		26								26	
	φ12mm 15g 5人1人	本		12				40	115		3	168	
	φ12mm 15g 5人1人	本										0	
	φ12mm 15g 5人1人	本						40	150			190	
松 鉄	φ100mm L=1.2m	本										47	
	φ100mm L=1.2m	本		34								34	
	φ100mm L=1.2m	本	4									4	
	φ100mm L=1.2m	本										0	
松 鉄	φ150mm L=1.2m	本										112	
	φ150mm L=1.2m	本										0	
	φ150mm L=1.2m	本		67					32			99	

水防連絡協議会で共有された資料
右上: 重要水防箇所図
左下: 水防資材一覧表

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

・出水期前に、水防関係機関への情報伝達等、実践的な演習により、防災体制に万全を期すことを目的とした訓練を実施し、関係機関への情報伝達として、芦田川水害タイムラインの発動やホットラインを実施した。

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
風水害対策訓練	国土交通省 中国地方整備局	中国地方整備局 管内事務所、自治体、関係機関等	中国地方整備局 全職員、自治体 及び関係機関の 防災担当職員等	・災害情報共有 ・所管施設点検 ・被災状況報告 等	5/10



風水害対策訓練の様子(R6.5.10)

気象台

⑥ 住民の避難行動を支援する防災情報の提供・周知

・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供

令和6年度は以下の事項について実施

- ・線状降水帯による大雨について半日程度前から府県単位での呼びかけを開始

線状降水帯による大雨について 半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に**対象地域を狭めていく**

令和3(2021)年
線状降水帯の発生を
お知らせする情報
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域
を楕円で表示

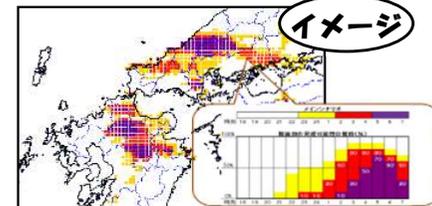
令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6年度の新たな運用
令和6(2024)年5月27日～
府県単位で半日前から予測

次期静止
気象衛星
(令和11年度
運用開始予定)



令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に**情報の発表を早めていく**

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、
情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく